

TOPICS

人間生活工学を活用したデザート用漆器の開発

—三世代家族の誰もが使いやすい輪島塗のデザイン開発—

繊維生活部 餘久保優子 (よくぼ ゆうこ)

yokubo@iriii.jp

専門：製品デザイン、人間生活工学

一言：デザイン活用で製品の付加価値を高めましょう。



工業試験場では、中島忠平漆器店(輪島市)と共同で、人間生活工学手法を活用した、幼児から高齢者まで三世代家族の誰もが使いやすいデザート用の漆器を開発しました。

開発は、仮想の人物を想定し、その人物がどんな生活をするかというシナリオを作成しながらデザインコンセプトを定めるとい技法を用い、製品アイテムはカップ、ピックフォーク、デザートプレートとしました。

次に、2～90歳代までの人たちの手指の寸法、力の強さ、嚥下(飲みこむ)機能(図1)や把持(持つ)機能(図2)等の動作特性を調査・分析し、各アイテムの必要寸法とデザイン条件を導き出しました。

それらを元にデザイン設計と試作、使用評価と改良を繰り返し、開発を進めました。

開発した漆器(図3)は、平成26年度石川県バリアフリー社会推進賞優秀賞を受賞しました



図1 カップの評価



図2 ピックフォークとプレートの評価



図3 開発したデザート用の漆器